てるひゅっと



海外研修KYOのあけぼの会

表題「てるびっと」はインドネシア語(京都府友好国)で「あけぼの」の意味です。 京都府の花「しだれざくら」木「北山杉」鳥「オオミズナギドリ」をモチーフにしています。

はじめに ••••



海外研修KYOのあけぼの会 会長 田中田鶴子

ご挨拶

皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申しあげます。 海外研修KYOのあけぼの会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御 礼申しあげます。

2021年の自主研修は「環境との調和」をテーマに、東北地方を訪ね ました。

白神山地では、多種多様な動植物が生息・自生する貴重な生態系を 学び、植樹をし、十和田湖や世界文化遺産『三内丸山遺跡』なども 訪れ、伝統文化や歴史を知って、自然と調和しながら新しい観光に 挑戦される方々のお話しも伺いました。独自の文化や歴史が、この地

域ならではの豊かな自然によって生まれたのだと、改めて感じました。

京都府においても、「京都夢実現プラン・京都府総合計画」の中で"環境にやさしく安心・安全な京都 府"を掲げられております。持続可能な社会を築くために私たちは、自然や生態系を守り、環境に優しい ライフスタイルを確立させることで、次世代にバトンをつなげていきたいと強く思う次第です。

今回の成果を、本紙に掲載しておりますので、ご一読ください。

当会は1989年以来、リーダーとしての資質向上や、女性関係団体のネットワーク作り、さらに国際交流の 促進をめざして活動を続けてまいりました。その間、社会環境も大きく変化し、今では組織や社会の発展 には女性の活躍が不可欠とまでいわれる時代になりました。今後とも京都府が推進される共生社会の実 現の一助を担うべく、歩みを進めてまいりますので、会員の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

●●● 海外研修KYOあけぼの会 2021年度総会・研修会次第

日時: 令和3年4月23日(金)11:00~12:40 場所: 京都ホテルオークラ 3階『翡翠の間』 総会

- 1. 開会
- 2. 田中田鶴子会長挨拶
- 3. 来賓紹介 京都府男女共同参画副部長 木村真子様
- 4. 来賓祝辞
- 5. 議長提出
- 6. 議事

1号議案 2020年度事業及び決算報告について 監査報告

2号議案 2021年度事業計画及び予算(案)

7. 閉会







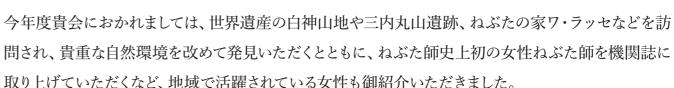






「海外研修KYOのあけぼの会」の皆様におかれましては、日頃か ら京都府政の推進につきまして、御理解と御協力を賜っております ことに、心よりお礼申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症につきましては、昨年末から、オミク ロン株による感染の急拡大が続く中、1月末からまん延防止等重点 措置となりましたが、この間の府民の皆様、事業者の皆様の御協力、 医療従事者の皆様の御奮闘に対しまして、厚く感謝申し上げます。 今後も万全の対策を実施してまいりますので、引き続き、御協力いた だきますようお願いいたします。



このような貴会の取組が、地域における女性活躍を先頭に立って牽引いただいていると、改めて認識 させていただき、コロナ禍の困難を乗り越えていくための大きな原動力になるものと確信しております。 京都府では、昨年3月に策定した「第4次KYOのあけぼのプラン」に基づき、男女共同参画社会の実 現に向けて施策を推進してまいりますので、皆様方のお力添えをお願い申し上げます。

結びにあたり、「海外研修KYOのあけぼの会」のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝を心 より祈念申し上げます。

研修会

講演「気候変動問題と私たちの選択し ~脱炭素型のステキな京都の実現に向けて~ 講師:京都府地球環境温暖化防止活動推進センター 副センター長 木原 浩貴様

京都府知事

西脇 隆俊 氏



木原様には脱炭素社会の受容度を高める 必要性についてわかりやすくお話をいただきました

気候変動対策は日本の場合現在の生活の質を脅かすものとであるという 捉え方をしているかたが圧倒的に多く、諸外国では生活の質を高めるもの として取り組みが拡大し地域で進んでいます。例えば暑さ寒さを我慢して 空調設備を使わないようにするなどということではなく脱炭素によってむ しろ生活の質を向上されること、つまり住民や事業者にポジティブに認識 されることが重要である。というお言葉が大変印象でした。

諸外国の進んだ取り組みなどもご紹介いただきながら、脱炭素社会の受 容度向上のためには、「心理的気候パラドックス」を解消する必要があり、 日本において効果的なコミュニケーションの方策を探ることでさまざまな 団体へアンケート調査を実施されている。

現在は「たんたんエナジー株式会社」の代表取締役として再生可能エネ ルギーを家庭、企業、公共施設に届けることで、丹後地域との繋がりを作 り気候変動対策をしながら地域を元気にするためにご活躍中です。

白神山地

実施日: 2021年10月20日 文: 藤田 美代子

白神山地世界遺産センター(藤里館)では世界自然遺産白神山地を楽しく深く知ることができます。

雨の中、ブナ林まで入ることが出来ず展示を見ながら 森の教養を深めました。











▲常駐の自然アドバイザーより詳しく解説いただきました。

白神山地は秋田県北西部と青森県南西部にまたがる約13~クタールにおよぶ広大な地帯の総称です。ここでは人為の影響をほとんど受けていない世界最大級の原生的なブナ林が分布し、多種多様な動植物が生息自生するなど貴重な生態系が保たれており、中心部1万

6971へクタールが、1993 年12月世界的に貴重な 自然遺産として、世界自 然遺産に登録されました。 ブナ林は天然のダム「緑 のダム」ともいわれてい



る様に、すぐれた保水力をもっており、降った雨は地中 たっぷりたくわえられ、やがて川へと送り込まれ、たくさ んの暖流魚を育てながら日本海へと流れてゆく。ブナ の森に源を発生した水はたくさんの養分をふくみ、豊か な海をも育んでくれるとのことです。











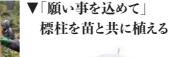




▲自神山地の成り立ちが分かりやすくパネルにまとめられている

白神山地やブナについて学びました後、参加者各自、標柱(杭)に名前や願い事を記入し、植樹体験地へとバスで移動、到着した植栽地でも雨の為、皆さんはバスの中から見学し、代表の者が土の起こし方を教わりながら、苗木を植樹しました。







▲山の森を復元し海の森を 再生させたブナの植林活動



4年後に育ったブナは、ブナ林の中に移されるそうです。どんなに育っているか、移される前に、もう一度是非来て見てみたいものです。元気で育ってくれることを願いつつ、バスに乗り、本日の宿泊ホテルへと向かいました。



▲核心地域においては次世代に貴重な自然 環境を引き継ぐため、人手を加えないことに しておりルートの整備は行っておりません



「奥入瀬渓流館」にて、事前学習

実施日:2021年10月21日 文:梅谷 康子







▶奥入瀬渓流の特徴

- 1:十和田湖が水源(ブナの森に囲まれたカルデラ湖)
- 2: U字型の谷(湖岸決壊で八甲田火砕流台地を削った)
- 3:勾配が緩い(全長14Kmで高低差200m)
- 4:氾濫が起きにくい(天然ダムの十和田湖と緩勾配)
- 5:巨木の回廊(谷底で背伸びして成長)
- 6:隠花帝国 (ヤマセ(海霧) と雪・森と滝で湿潤な環境)
- 7:優れた歩道(水際に近い稀有な自然歩道)

「NPO法人 鬼 λ 瀬白然観光咨源研究





ネイチャーガイドによる事前研修とガイドツ

▶従来の観光スタイル

美しい景観を見てきれい・素晴らしいと感動 リピートしにくい/別の景色も見てみたい/一過性の観光



観光スタイルを変えよう



▶これからの観光スタイル

美奥入瀬渓流の自然の価値を理解して感動を心に残すなるほどとうなずける観光/もっと知りたい

→ リピートにつながる

5

渓流沿いの道路からでも素晴らしい滝や渓流を観察できる稀有な環境



▶ 特別保護地区に指定されてお り、落ち葉の取得も禁止されて



▼雨もまた魅力的ということで半 分ぬかるみのガイドツアー



▼奥入瀬の成り立ちに欠かせな い「コケ|類



▲雲井の滝





◀ 八甲田山へ向かう道中、紅葉から次第に 雪模様に

「八甲田雪中行軍遭難事件」 について解説 を聞きながら向かう。

雪中行軍は、厳寒地での戦いに向けた準備 としての冬季訓練が目的であった。



▲日本最大級の洋風ログ木造建築、雲上リゾート、 八甲田ホテルにて昼食



▲レストランMe Deau (青森弁のうめーどー)







▲周りは白一色のホワイトアウトで 何も見えません

ねぶたの家わらっせ

実施日:2021年10月22日 文:西村 温子

「ねぶたの家、ワ・ラッセは青森駅のすぐ近くと大変便業、商工会などが企画し22台ほどが作られます。 利なところにありました。

一年中ねぶたを身近に感じられる施設です。







建物の中にはねぶたに関す る歴史など説明が詳しく展 示され、また実物も設置さ れ色鮮やかで迫力は凄いも のでした。



大型ねぶたは高さ5メートル、幅9メートル、奥行7メート ル、毎年8月2日から7日まで、いろいろな団体や地元企











ねぶたの由来は眠り流しのねむたいがねぶたいねぶた になったとか諸説あるようです。

一説には祇園祭にも関連があるのではないかとありま した。

▶参照

青森ねぶた祭は、日本各地の祭りの中でも屈指の大き な祭典に発展しました。

享保年間 (1716年~1736年) の頃に、油川町付近で弘 前のねぷた祭を真似て灯籠を持ち歩き踊った記録があ りますが、果たしてこれほどの祭りになろうとは、当時 の人びとは夢にも思わなかったことでしょう。

現在のような歌舞伎などを題材にした灯籠(ねぶた) が登場したのは、平民芸術が爛熟期を迎えた文化年間 でしょう。その様子を江戸の風流人滑稽舎語仏(こっけ いしゃごぶつ)が「奥ノしをり」に書いているといわれて おり、郷土史家の松野武雄さんが、昭和41年8月の東奥 日報に書いています。

ねぶたを作るねぶた師の世界は300年もの長い間男性 社会でしたが数年前より北村麻子さんという初の女性 ねぶた師の方がねぶた大賞も取られ活躍されてます。

▶北村麻子(きたむらあさこ)

1982年10月生まれ、ねぶた師史上初の女性ねぶた師。 父親であり、数々の功績を残すねぶた師の第一人者で ある六代目ねぶた名人の北村隆に師事。2007年、父親 の制作した大型ねぶた「聖人聖徳太子(ねぶた大賞受 賞) | に感銘を受け、ねぶた師を志す。





2012年、青森市民ねぶた実行委員会から依頼されデ

ビュー。そのデビュー作「琢鹿(たくろく)の戦い」が優 秀制作者賞を受賞したことで注目される。

引用:ねぶた師 北村 麻子 公式サイト

https://asako-kitamura.com/



▲2019年「神武東征」優秀制作者受賞作品

構想から下絵、台座作り、骨組み、色つけと一年 がかりの大作の青森ねぶた祭りは東北の代表 する素晴らしいお祭りです。

祇園祭もこの2年コロナで中止を余儀なくされ ました。ねぶた祭りも同様です。

今年こそ開催される事を願っています。一度は是非訪 れてみたいものです。



実施日:2021年10月22日 文:神田 尚子

今回の研修旅行最後の訪問先は2021年7月27日に世界 文化遺産に登録された日本最大級の縄文集落跡で知 られる「三内丸山遺跡」です。

※世界文化遺産への登録は2019年の「百舌鳥・古市 古墳群」(大阪府)に続き20件目となります。





遺跡の中には「ムラ」を見る事ができる遺跡区と出土し た史料を保存・展示・研究する教育・展示施設とに分 かれ、当時の様子を一日を通して学べます。

1992年、スタジアム建築候補地の発掘調査で大規模 な縄文時代の「遺跡」が見つかりました。今から5900

年前~4200年前の縄文時代前期~中期迄の集落跡 で、長期間にわたって安住生活が営まれていたことが この遺跡により確認できました。さらにこの遺跡の発見 によって縄文文化のイメージが大きく変わり当時の集 落の様子や自然環境などが具体的にわかり、2000年に は国特別史跡に指定されました。

1992年からの発掘調査では、竪穴建物跡、大型竪穴 建物跡、大人の墓、子どもの墓、盛土、掘立柱建物 跡、大型掘立柱建物跡、貯蔵穴、粘土採掘坑、捨て 場、道路跡などが見つかりました。また、膨大な量の縄 文土器、石器、土偶、土・石の装身具、木器(掘り棒、 袋状編み物、編布、漆器など)、骨角器、他の地域から 運ばれたヒスイや黒曜石なども出土しています。ヒョウ タン、ゴボウ、マメなどの栽培植物も出土し、DNA分析 によりクリの栽培が明らかになるなど、数多くの発見が 縄文文化の営みの新しい発見となった。

この様な調査から、この集落が通年において多種多様 な自然資源を巧みに利用した暮らしをしていたことがわ かります。

▼遺跡全体写真





南盛土には、新しく住居をつくる際に掘った残土と共 に、割れてしまった土器・石器・土偶・ヒスイ等が捨て られました。これらの生活廃棄物と土は、約1000年の 年月を経て高く積み重なり小山の様になっていきまし た。現在も土中の土器などを確認する事ができます。 発掘調査の結果、出土したヒスイや土器の特徴から、 まつりに関係する物が多くみられたそうです。

遺跡内には復元された建造物等もありました。住居と して使用されていた竪穴建物には、広々としたスペース があり大人が複数人入っても充分な広さです。発掘さ れたこれらの住居は、地面を掘り込んでつくられ、中央 には炉が設置されています。炉の位置や柱の配置など は時代によって異なるそうです。

1つの集落で長い縄文時代の変遷を私たちが知ること が出来るということも、三内丸山遺跡が世界遺産に登 録された1つの理由でもあります。

▼写真はすべて竪穴住宅











▲ 地面に穴を掘り、6本の穴に柱を建てて屋根を支えたと見 られる掘立柱建物は、背が高く長方形をしています。 集落の中心部等に密集して発見された為、お祭りや集会所、 周囲の見張りなどの目的で使用されたと予測されています。



▲発掘跡より復元された大型の竪穴建物

建物の長さが10m以上の物が大型と呼ばれます。

一般の住居よりも大きな建物の為、集会所や共同作業所とし て使われていました。

三内丸山遺跡内では、最大長さ約32メートル・幅約10メート ルのとても大きな建物跡が発見されています。

▶ 「三内丸山応援隊」 無料のボランティ アガイドさんが、約1時間をかけて集落内 を丁寧に細部までご説明くださいました。





集落内には人々が確かに生活していたことが感じられ る遺跡が多くあり日本という国の長い歴史をこの目でみ ることができる重要な遺跡です。現在も発掘・研究が 続けられており、今年度も石器や骨など様々な史料が 発掘されています。今後も当時の人々についての新発見 に期待したいものですね。

参考:特別史跡 三内丸山遺跡 公式サイト

https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/welcome/

第33回 KYOのあけぼのフェスティバル2021 未来へつなぐ私たちの京都#SDGs -

日時 2021年11月6日(土曜日) 9時30分~12時30分

場所 京都テルサ テルサホール

Program

●展示

男女共同参画推進への取り組み、 京都観光などのテーマに沿ったパネル展示 KYOのあけぼのフェスティバル





当会では会の理念ならびにこれまで の研修内容での記録を展示いたしま した。





京都府知事 実行委員長 西脇 隆俊 氏 田中 田鶴子

●実行委員長挨拶 田中 田鶴子

●京都府あけぼの賞表彰式

京都府あけぼの表彰式では様々な分野で先駆的な活動で功績の著しい、京都にゆかりのある女性6名と1団体に表彰状と副賞がおくられました。



●講演

「支援の現場で学んだ、ひと・チーム・世界の変えかた

~持続可能な開発目標(SGDs)を使って、私たちの暮らしと世界をより良くするために~」

講師 認定NPO法人テラ・ルネッサンス

創設者·理事·事務局長 鬼丸 昌也 氏 啓発事業部講演企画·支援連携担当 栗田 佳典 氏

















入会案内

海外研修KYOのあけぼの会

私たちは、地域社会のリーダーとして、女性の自立と社会参画を促進する事業を実施しています。毎年の研修旅行では、さまざまな課題に先進的取り組みがなされている国内外の地を訪問し、実情の視察とともに率直な意見交換を交えた研修を行い、その後の活動の糧として男女共同参画による地域社会づくりを目指しています。

主な研修地

2007年 スイス・チューリッヒ

教育・福祉等で活躍する女性と交流

2008年 島根県 大田市

世界遺産・石見銀山の文化的景観を訪ねる

2009年 北海道 知床

世界遺産・知床の温暖化対策と流氷トラストに学ぶ

2010年 イギリス湖水地方

ナショナルトラストに学ぶ

2011年 山陰海岸

大地の公園・山陰海岸ジオパークの地域おこし

2012年 海洋島・小笠原諸島

自然保護活動

2013年 デンマーク・ロラン島

風力発電・自然再生エネルギー

2014年 長崎県 五島列島

世界遺産登録を目指す五島列島の地域活性化と女性の活動

2015年 広島·愛媛

戦後70年の原爆ドーム・近代化産業遺産別子銅山

2016年 ポルトガル

輝く女性を訪ねて

2017年 岡山県 真庭市

森林と共に暮らす真庭市でバイオマスツアー

2018年 パリ

活躍する女性を目指す京都とパリ

2019年 東京

働く女性の学び~過去・未来~武相荘にて

2020年 京都府下丹後半島・美山・和東・乙訓

未来へ続く地域に根付いた持続可能な営み



2016年 ポルトガル 輝く女性を訪ねて



2017年 森林と共に暮らす 真庭市でバイオマスツアー



2018年 活躍する女性を 目指す京都とパリ



2019年 働く女性の学び ~過去・未来~武相荘にて



2020年 京都府下丹後半島 美山·和東·乙訓

海外研修KYOのあけぼの会ご入会をお待ちしています

★活動にあたって

1.人とのつながりを大切に

2.実際に行動する

3.まわりの多くの人に伝える

年会費 3,000円(4月~翌3月) ご入会のお問い合わせ・申込は

http://kyo-akebono.com/membership/

または TEL 075-761-3401 事務局 岡野

てるびっとバックナンバーはこちらからご覧いただけます。

http://kyo-akebono.com/official-magazine/



2022年度 海外研修KYOのあけぼの会研修旅行ご案内

~ 奄美大島の旅 ~

◆募集人員: 20名様 ◆旅行代金: 2泊3食付き ¥135,000 (予定)

◆旅行日程: 2022年10月23日(日)~ 2022年10月25日(火)◆旅程は変更になる可能性があります

日数	月日(曜)	予定
1	10月23日(日)	伊丹空港発9:25 奄美空港着11:15 奄美空港発11:30 あやまる岬11:45 昼食12:45 奄美大島を代表する景勝地。天気がよければ笠利崎や隣の喜界島も見え、アダンやソテツの群生も見事です。 奄美パーク(奄美の郷・田中一村記念美術館)14:15 奄美の美しい自然や多様な歴史、文化を紹介するとともに、人々の交流の場となる『奄美の郷』と、奄美の自然を描き続けた日本画家、田中一村を紹介する『田中一村記念美術館』の二つの施設を中核とする奄美の新たな観光拠点で ホテル到着16:30
2	10月24日(月)	ホテル8:15 金作原原生林ネイチャーツアー 8:30 奄美を代表する亜熱帯照葉樹林の原生林です。世界最大のシダ類・ヒカゲへゴの巨木群落、多くの天然記念物を観察することができ、現地ガイドと共に原生林を散策いたします。 昼食12:30 大島紬村14:00 80工程にわたる複雑なプロセスを経て完成する本場奄美大島紬。ここでは職人たちの匠の技を工程に沿って見学できます。機織り体験や、大島紬の着付けサービス、染色体験も大人気です。 土産物店15:30 ホテル到着16:30
3	10月25日(火)	ホテル発10:00 奄美空港着10:45 奄美空港発12:05 伊丹空港着13:35

編集後記

コロナ禍が長引く中、その合間を縫って東北の世界自然遺産の研修を無事に終了し、今回もその成果を役員達が詳しく心を込めて掲載いたしました。もう暫くでアフターコロナの社会となり、活動も平常に戻ると思います。今後も男女共同参画社会実現のための地域ネットワークを広げながら新しい学びに出会い、なおかつ、楽しみもいっぱいの海外研修KYOのあけぼの会での活動にご期待下さい。(岡野路子)

2022.3 発行 / 海外研修KYOのあけぼの会

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町85番地の4 (岡野組内) TEL 075-761-3401 FAX 075-752-3034 事務局 岡野



資産形成のご相談は 京都銀行へ

